

# 校長室からのお知らせ

6月24日 NO.12

岸和田市立山直北小学校  
校長 尾野 武志

## 水無月から文月へ

睦月（おつき 1月）如月（きさらぎ 2月）弥生（やよい 3月）卯月（うつき 4月）皐月（さつき 5月）水無月（みなづき 6月）文月（ふみづき もしくは ふづき 7月）葉月（はづき 8月）長月（ながつき 9月）神無月（かなづき 10月）霜月（しもつき 11月）師走（しわす 12月）が、旧暦の月の名前です。

10月は、島根県の出雲地方だけ全国の神様が出雲大社に集まるので神無月ではなく、神在月（かみありづき）と呼ばれるそうです。出雲地方以外は、神様が出雲大社に出張（？）されているので神無月になったといわれています。

さて、来週は文月（7月）になっています。文月の由来として有力なのは、七夕の夜に書物を開いて夜風にさらすことで、書の上達を祈る風習があったことから、そう呼ばれるようになったとする説です。もとは「文披月（ふみひらきづき・ふみひろげづき）」と呼ばれていましたが、それが転じて文月になったのだそうです。睦月から師走まで、学習に関することが由来になっているのは、文月のみです。できましたら、1学期のまとめの時期である7月に、書の上達も含め学力の向上もめざしてほしいと願います。

余談になりますが、私が中学生の頃にご指導いただいた国語の先生は、旧暦や春の七草、古文の冒頭などを生徒に暗記させるのがとてもお好きで、生徒が苦勞しているのを楽しんでおられるのかと疑いたくなるような方でした。当時は、少し恨んでいましたが、57歳になっても記憶できているので、ありがたいことだと今は感謝しています。

旧暦を暗記するのに、五七五のリズムで覚える方法があるそうです。「おきやうさ（睦月、如月、弥生、卯月、皐月）・みなふみはづき（水無月、文月、葉月）・ながかしし（長月、神無月、霜月、師走）」と繰り返し唱えることで暗記しやすくなるそうです。いろいろな方法で覚えようと工夫と努力をされた方が多数おられるようです。私が中学生のころに、このような方法を教えていただけてたら、少しはテストの点数が良かったかもしれません。